



人生は いつまでも現役で

いつもは学術的なことや在宅医療での患者さんのご様子をお伝えすることが多いのですが、今回は当院トライバーについてお話しします。

当院トライバーは現在

4人いて、年齢は65歳から75歳までと、現役を引退されてから、セカンドキャリア、サードキャリアとして働いていま

経済的理由もあるとは思

す。皆頼もしい存在で、患者さん宅の道順の最短ルート設定や、私やアシスタントが診療に専念できるように丁寧な運転を頑張ってくれています。また診療所に戻れば、スナッフと楽しそうに談話をしたりしています。私も20年以上前に学生だった頃、大学の老年病科の教授から「君、65歳で老人というけれども、本当にそう思うか？」と聞かれ、あの頃は私も世間知らずで定義を大切にしていたものですから、「定義がそうだからそうじゃないですか」と答えたら、教授に呆れられた顔をされました。今思えば、教授はフレイルという概念を伝えたかったのかなと思います。

最近、私の知り合いでは60代でトライアスロンをやり始める人もいれば、70代で一緒に2900歩ある白馬岳に登った人もいます。昔は「年だから」という理由で、65歳を過ぎれば、フレイルが進み、積極的な社会の関わりや新しいことへの挑戦が少なかったと思いますが、今は随分と変わってきました。



松原 清二医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長

総合内科専門医、循環器内科医

・日本循環器学会専門医

・日本内科学会認定医

・認知症専門医

・認知症サポート医

温故知新という言葉があります。これまでの人生での知恵を後進に伝えてもらい、ご自身も生き生きと社会で過ごしてもらえたら、人生100年時代を生き抜くには良いのかなと思います。

【まつばらホームクリニック】

☎ 042-439-1250

matsubarahomeclinic@gmail.com

西東京市東町 4-14-18-2F

■電話対応：午前 9:00～午後 6:00

■定休日：土日（祝日は診療）

■訪問地域：西東京市、東久留米・

新座・練馬の一部



まつばらホームクリニック

検索